

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580313	資料館資料整理事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	野々山 照夫				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化財の保存と活用									
	(1)事業の概要											
	資料館の収蔵資料の目録等を整理作成してデータ化することにより、これらの資料の検索性を高め必要に応じて利用できる状態にする。もって、歴史的な財産である資料館の収蔵資料が適正に保存し活用を可能にする。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単位			
							古文書の整理件数		件			
							遺物コンテナ及び民俗資料の整理件数		件			
							マイクロフィルム撮影件数		件			
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
資料 データベース作成業務委託・埋蔵文化財整理業務委託・緊急雇用創出事業(古文書等資料) データベース作成業務委託・絵図面等資料撮影業務委託(5業務) 設計書作成、委託契約、業務の施行監理 出来高検査、委託料の支払い 業務成果品の保存管理												
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
資料館で収蔵する古文書 資料館で収蔵する出土遺物及び民俗資料 資料の状態が著しく悪い古文書等の収蔵資料						名 称		単位				
						古文書の数		点				
						遺物コンテナ及び民俗資料の数		点				
						データ化が必要な収蔵資料の数		点				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
古文書等を選別し目録及び台帳を整理する。 出土遺物及び民俗資料を選別し目録及び台帳を整理する。 データ化し保管管理する。						名 称		単位				
						整理した古文書の数(累計)		点				
						整理した遺物コンテナ、民俗資料の数(累計)		点				
						データ化した古文書等の数(累計)		点				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。						名 称		単位				
						伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%				
						伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		件	220	30	500	500	500	500				
		件	100	82	100	100	100	100				
		件	10	10	10	10	10	10				
(6)の対象指標		点	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000				
		点	6,105	6,205	6,305	6,405	6,505	6,605				
		点	53,500	38,292	38,792	39,292	39,792	40,292				
(7)の成果指標		点	32,170	32,200	32,700	33,200	33,700	34,200				
		点	5,983	6,065	6,165	6,265	6,365	6,465				
		点	38,262	38,292	38,792	39,292	39,792	40,292				
(8)の結果の成果指標		%	74	74	74	74	74	74				
		%	50	50	50	50	50	50				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	17,675	6,555	5,554	5,661	5,661	5,661				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	13,797	2,751	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	3,878	3,804	5,554	5,661	5,661	5,661				
人件費B		千円	3,198	3,235	3,235	3,235	3,235	0				
正職員従事時間×人数		時間×人	265 × 2	265 × 2	265 × 2	265 × 2	265 × 2	×				
正職員以外の人件費		千円	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243					
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	20,873	9,790	8,789	8,896	8,896	5,661				
単位あたりコスト		千円/ 点	0	0	0	0	0	0				
(トータルコスト		千円/ 点	3	2	1	1	1	1				
/(6)の対象指標)		千円/ 点	0	0	0	0	0	0				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580313 資料館資料整理事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成14年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 寄託又は寄贈された古文書等の資料は、袋詰めにされた状態で保管管理していたが、新編三好町誌編さんに活用するため開始した。	特になし。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化した内容		

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 文化財保護法、みよし市立民俗資料館設置条例 この事務を行う根拠又は理由 寄贈資料、寄託資料及び購入資料は、市民共有の歴史的な財産であり、これらの整理と活用は、資料館の役割である。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	資料館の収蔵資料を整理保存する事業であり、専門業者への業務委託、職員の増員により可能な限り事業の遂行を早める。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	未整理状態にある古文書及び遺物は、小中学校の教材、新たな郷土の歴史に関わる調査、研究、資料館展示事業に活用することができない。他の博物館からの借用依頼や資料調査に対応できないため、事業の継続が必要である。					